

担い手関係資料について

- リース方式により農業参入した企業等の状況について
- 新規就農者について

平成21年3月18日

農林水産省

リース方式により農業参入した企業等について

- 平成20年9月現在、農地リース方式により参入している法人数は320法人※
- 参入法人の6割以上が営農開始して3年以内と参入して間もないこと等から、
 - ① 売上高なしとする法人が23%
 - ② 経営収支が赤字となっている法人が63%を占めている。

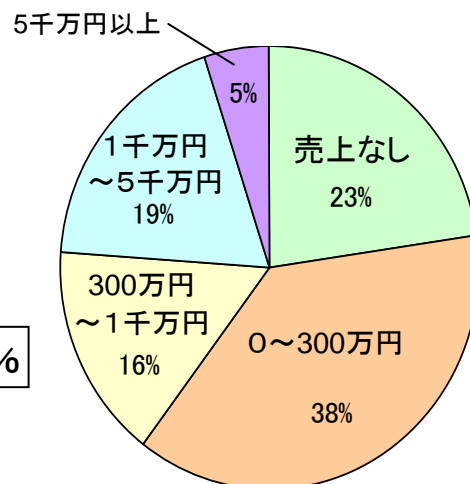
※農業生産法人化した7法人を含む

参入時期別法人数

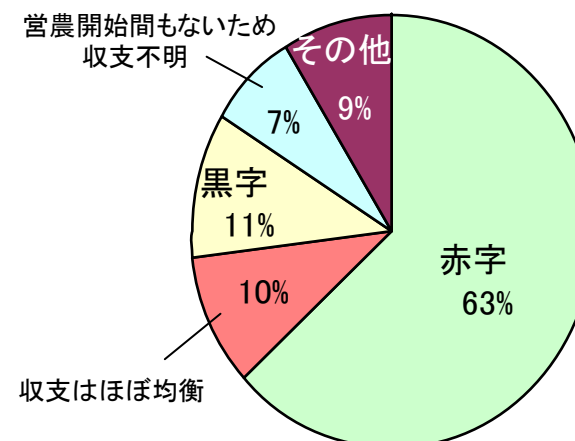
| 参入年 | 法人数 | (%) |
|-----|-----|--------|
| H15 | 19 | (5.8) |
| 16 | 40 | (12.3) |
| 17 | 67 | (20.6) |
| 18 | 54 | (16.6) |
| 19 | 85 | (26.1) |
| 20 | 61 | (18.7) |
| 計 | 326 | (100) |

61.2%

農業の売上高



農業部門の経営状況



資料：経営局構造改善課調べ

注1：6法人が複数市町村に参入しているため合計は326となっている。

注2：ラウンドのため計と内訳が一致しない。

資料：農業参入法人連絡協議会調べ（平成20年8月アンケート）

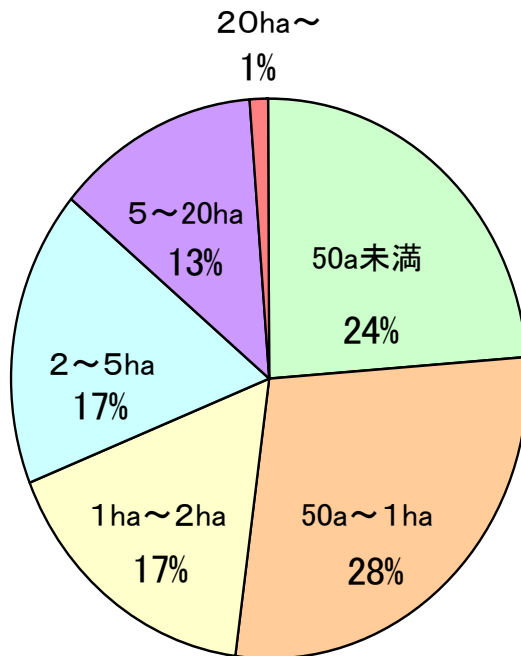
注：調査時点の参入270法人のうち、回答のあった82法人による回答

○ 借受農地面積 1 h a 未満が 5 2 %

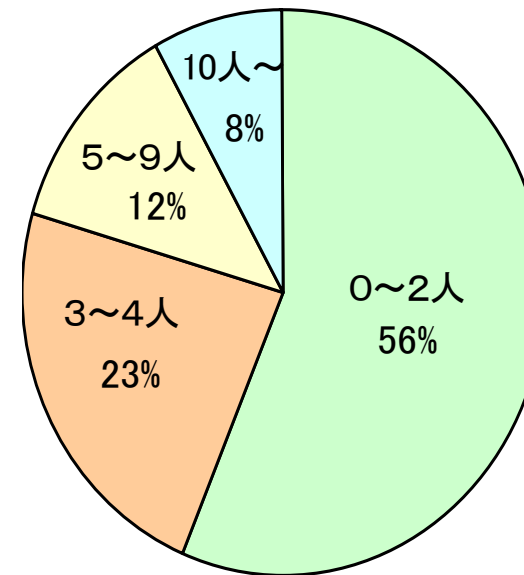
○ 農業常時従事者数 2 人以下が 5 6 %

規模も小さく、従業員が少ない法人がほとんど

1 法人あたりの
借受農地面積



1 法人あたりの
農業常時従事者数



資料: 経営局構造改善課調べ

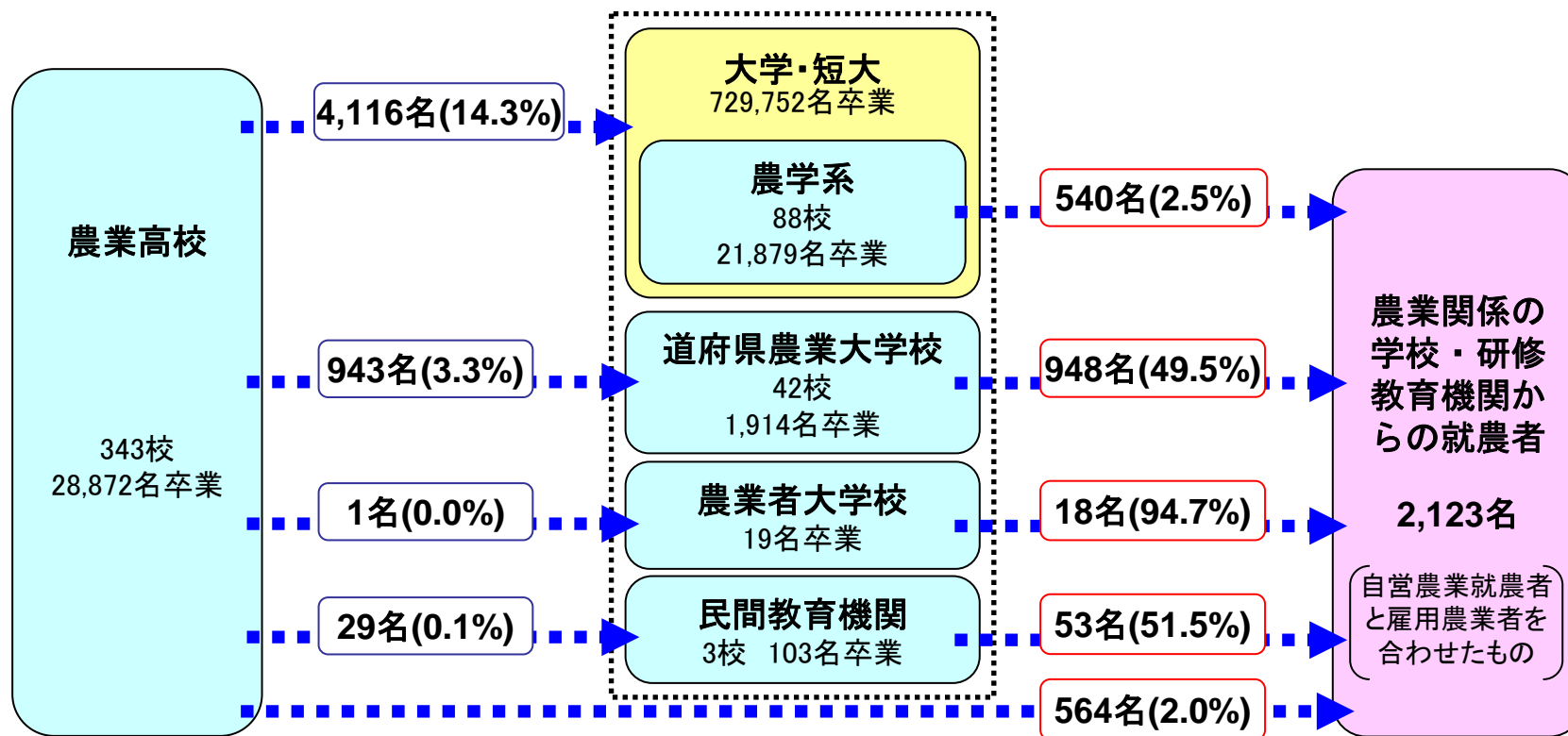
注1: 農業生産法人化した7法人は、借受面積がないため除いている。

注2: ラウンドのため計と内訳が一致しない。

注3: 新たに雇用された人数については把握していない。

新規就農者について(農業関係の学校・研修教育機関の卒業者)

- 平成19年度の農業関係の学校・研修教育機関の卒業生は、農業高校で28,872名、農学系の大学・短大で21,879名、道府県農業大学校等の研修教育機関で2,036名（道府県農業大学校1,914名、農業者大学校19名、民間教育機関103名）。
- このうち、卒業後直ちに就農した者は、農業高校で564名（卒業者に占める割合：2.0%（以下同じ））、農学系の大学・短大で540名（2.5%）、道府県農業大学校で948名（49.5%）、農業者大学校で18名（94.7%）、民間教育機関では53名（51.5%）。



資料：卒業生数のうち、農業高校、大学・短大は文部科学省「学校基本調査」
道府県農業大学校、農業者大学校、民間教育機関は農林水産省人材育成課調べ

注1：大学・短大は修士・博士課程を、道府県農業大学校は研究課程を含む。

注2：農業高校、大学・短大の就農者には林業関係も含む

注3：（ ）内は卒業者に占める割合

新規就農者について(認定就農者の定着状況)

- 認定就農者(※)の就農5年後の定着状況調査によると、認定就農者で就農5年以内に離農した者の割合は、農家出身者では約6%、非農家出身者は約12%となっている。

(※)認定就農者：新たに就農しようとする青年等であって、就農計画を作成し、都道府県知事から認定を受けた者。
認定就農者は、就農に必要な経費（機械・施設整備等）に対する無利子融資を受けることができる。
近年の認定就農者数は毎年1,000人前後。

- また、離農の主な理由は、「農業以外の仕事をするようになった」、「十分な収入が得られなかった」となっている。

- 認定就農者の離農割合
(平成13年～15年に就農した認定就農者を対象として調査)

| | 調査数 | |
|--------------------|-------|-------------------|
| | | うち就農後 5年以内の離農者 |
| 農家出身者 (Uターンを含む) | 1,979 | 115 (5.8%) |
| 非農家出身者 | 818 | 94 (11.5%) |
| 合 計 | 2,797 | 209 (7.5%) |

資料:認定就農者の就農後の定着状況調査(農林水産省調べ)

- 離農した認定就農者の主な離農理由(1つのみ選択)

| 離農理由 | 人数(割合) |
|--|------------|
| 農業以外の仕事をするようになったから | 85 (40.1%) |
| 収益が低下し、十分な収入が得られなかったから 資金の返済ができなかったから | 31 (14.8%) |
| 家族の病気、家庭の事情のための時間が必要となったから | 19 (9.1%) |
| 農業経営に関する技術が不足していたから | 10 (4.8%) |
| 病気等により体力的に厳しくなったから | 8 (3.8%) |
| その他、不明 | 56 (26.8%) |
| | 209 |

資料:認定就農者の就農後の定着状況調査(農林水産省調べ)